

	チェック項目	現在の取り組み内容・今後の改善目標
適切な支援の提供	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている	保護者の方との連絡ツールにコドモンのアプリを利用して、各クラスで月ごとのお便りや行事予定、日々の活動概要などの諸連絡を発信しています。また、広報委員会を設けて、各クラスの活動内容や職員研修についてなどを、SNS(InstagramやFacebook)や法人の広報誌、ホームページなどで定期的に発信し、所内掲示の工夫も行っています。自己評価の結果についてはホームページに掲載させていただいていますが、保護者の方への発信の工夫についても検討していきたいと思えます。
	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	各クラスで定期的に保護者向け講座や座談会などを実施しています。また、OBの先輩保護者の方も参加していただいたり、ご家庭での支援の工夫、就学(就園)の情報共有などテーマに合わせて保護者会を行っています。保護者同士の交流や連携はとても大切だと考えており、今後もさらなる工夫を検討しながら実施していきます。
	活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	子どもたちが楽しめることを第一に、こどもの興味や発達に合わせて、季節の遊びなども取り入れて毎月新しい活動を設定しています。また、地域の公園へのお出かけ、近隣スーパー等への買い物、遠足行事など、事業所外での活動も取り入れています。今後も各クラスごとに、こどもに合わせてプログラムの工夫をしていきます。
保護者や関係機関との連携	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	児童発達支援センター診療所と密に連携を取り、日々の支援を実施しています。引き続き、関係機関と連携した支援を行っていきます。
	保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	子ども園の見学や園庭開放への同行など積極的に実施していますが、交流の機会はとても大切であると考えています。また、地域の公園などに散歩で行ったり、親子遠足などの行事で、地域のこどもと関わる場面もありました。今後も、地域の公園や施設に出かけるなど自然な場面での交流について、引き続き実施・検討を行っていきます。
	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	以前に事業所をご利用していただいていたOB保護者にも、同窓会や勉強会、座談会などに参加していただけるようご案内しています。また、所庭開放の実施や実習や見学の受け入れなども積極的に行っています。今後、事業所の研修会などへの地域の方の参加なども検討していきます。
非常時等の対応	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている	事業所内で緊急時対策委員会・マニュアル委員会を設置し、マニュアルや訓練、緊急時対策など定期的に見直し、検討する仕組みを作っています。毎月の事業所内訓練に加え、年2回の建物全館避難訓練にもご利用の方と一緒にしています。今後、保護者の方への周知・説明についても丁寧に行っていきます。